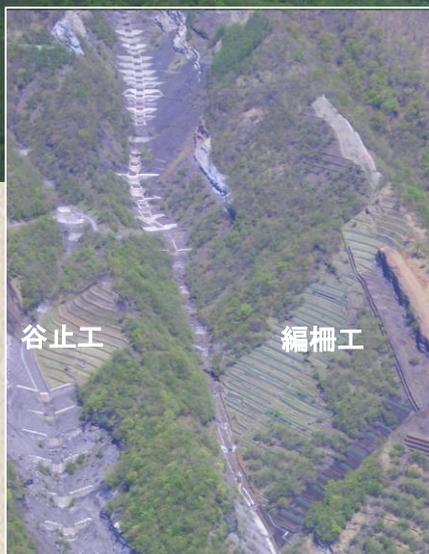


もっと知りたい？

男体山

# 男体山

いろは坂



## ◆山腹工(さんぷくこう)とは

男体山の東南斜面の崩壊地は、日光の市街地に面しているため、溪床に堆積した多量の土砂が土石流となって甚大な土砂災害を引き起こす恐れがあります。

それを防止し、なおかつ崩壊地を緑豊かな自然に復元するための様々な工法の総称を「山腹工」といいます。



男体山

日光市街地



## ◆谷止工(たにどめこう)とは

荒廃している沢の土砂移動を抑えることを目的として設置し、沢や斜面の崩壊の拡大を防止します。侵食の初期段階で谷止工を設置することで、侵食の拡大と大規模な崩壊を防止します。



## ◆編柵工(へんさくこう)とは

土留工(どどめこう)とも言います。編みこんだパネル式の柵を山腹の中部に設置し、山肌の土砂流出を食い止め、山腹緑化の基礎となります。

## 大雑山腹工を見るなら

■バス：JR日光駅・東武日光線日光駅から東武バスで中禅寺温泉または湯元温泉行きで約40分、「明智平」下車

■車：日光宇都宮道路清滝ICから国道120号で約20分  
駐車場あり



明智平には作家・幸田文の「崩れ」の一文を刻んだ石碑が(左)